

事業番号	17
------	----

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	子ども体験活動事業						担当部	こども未来部							
	会計区分	一般会計						担当課	こども政策課							
	事業期間	平成13年度		～	平成31年度以降		担当係	青少年育成係								
	基本施策・展開方向	3	教育・子育て		13	子育て支援		4	健全な青少年を地域で育てます							
	予算区分	款	10		項	5		目	4		大	4		中	3	
	根拠法令・個別計画	第3次小牧市生涯学習計画														
	目的	何・誰を対象に	市民、小学生、中学生													
		どの様な状態にするのか	子ども達が体験活動を通じて、こども同士や大人との交流により社会性を育ていく。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆29年度実施内容</p> <p>○こども自然体験活動事業 ・地域の方から参画をいただき、こども自然体験活動事業運営委員会を設置し、企画運営により事業を実施した。 自然体験活動(親子でじゃがいもづくり、わくわく魚とり、もち米づくりにチャレンジ、さつまいもほり、兒の森里山体験、親子自然観察講座、小牧山中高生サークル秋祭り・春祭りイベント)</p> <p>○学校外活動運営事業 ・子どもが参加するイベント・プログラムに、ポイントラリー制度を導入し、30ポイント以上の児童生徒にピンバッジを贈呈した。 ・ジュニアセミナーとして各種体験講座を32講座開催し、こどもの体験機会の充実を図った。</p> <p>※各事業の事務局を市が担い、職員は、市民と協働で事業に参加・運営した。</p> <p>◆29年度直接経費の内訳(支出ベース) こども自然体験活動事業委託料(3,064千円) 学校外活動運営事業委託料(2,483千円)</p> <p>◆30年度直接経費の内訳(予算ベース) こども自然体験活動事業委託(3,920千円) 学校外活動運営事業委託料(2,624千円)</p>														
	受益者負担	有		受講料、保険料												

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額		
事業費	費用	直接経費	千円	5,856	6,380	5,715	5,547	6,544	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	3,743	3,743	3,743	3,743	3,743
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	7,486
	費用合計		千円	17,085	17,609	16,944	16,776	17,773	
	対前年比		%	—	103.0	96.2	99.0	105.9	
財源	一般財源	千円	16,352	16,792	16,008	15,774	16,996		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	その他財源	千円	733	817	936	1,002	777		

業	成果指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30	
	績	自然体験活動	事業	目標	7	7	7	7
実績				7	7	7	7	
ジュニアセミナー		講座	目標	25	25	30	32	30
			実績	26	29	30	32	
活動指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30		
績	自然体験活動参加者数 (約)	人	目標	—	—	—	—	—
			実績	800	1,240	1,288	1,346	
	ジュニアセミナー受講者数	人	目標	400	500	550	550	550
			実績	495	508	542	566	

事業の評価	平成29年度	事業の達成状況	両事業共に、市民、講師との協働により円滑な運営を行うことが出来、目標を達成している。 自然体験活動も含めて、参加受講することも達は、体験することや学んだことが、目に見える形となって成果が得られることに、好評をいただいているところである。					
	平成29年度	事業実施における課題	わくわく体験広場を大山区で管理してもらっているが、役員等の関わる方が高齢であり、かつ、若い後継者が育っていないため、管理が難しくなっている。 ジュニアセミナーは定員制であるため、希望の講座を全ての児童が受講できるわけではない。人気集中し、抽選となる講座がある一方で、応募者が基準にみえず、定員割れのまま実施している講座もある。					
	平成30年度	30年度における実施内容や結果見込み	自然体験活動は引き続き行うが、こども自然体験活動委員会において、さつまいも体験については見合わせることに決定されたため、さつまいもほりについては実施しないこととし、今後の継続について検討を行う。 ジュニアセミナーについては、講座内容を見直し、昨年定員割れの講座を廃止し、人気の講座を増やした。					
	平成31年度以降	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
削減額・削減対象		事務事業評価による額	232	千円	予算区分	13	節	節
判定理由・削減内容		30年度ジュニアセミナーは30講座開催しているが、定員割れして開催している講座があるため、講座内容や開催回数を見直しを行う。 自然体験活動内容を見直し、30年度予算額(13節委託料6,544千円)からさつまいもに関する経費232千円の削減を図る。						
31年度以降の実施内容		ジュニアセミナーは協働提案事業化制度に公募を行うなど、市民との協働実施を検討していく。 自然体験活動については、わくわく体験広場以外での実施について検討していく。						